

## <調査結果報告>

### 消費意識と消費行動の変化に関する調査

三重県内の事業所で働く人を対象に、最近の物価高を受けて消費意識や消費行動がどのように変化したかについて調査しましたので結果を報告します。ご回答いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

【担当】株式会社百五総合研究所 コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上（たにのうえ）  
三重県津市岩田21番27号 TEL059-228-9105、080-6961-5358

#### 【調査概要】

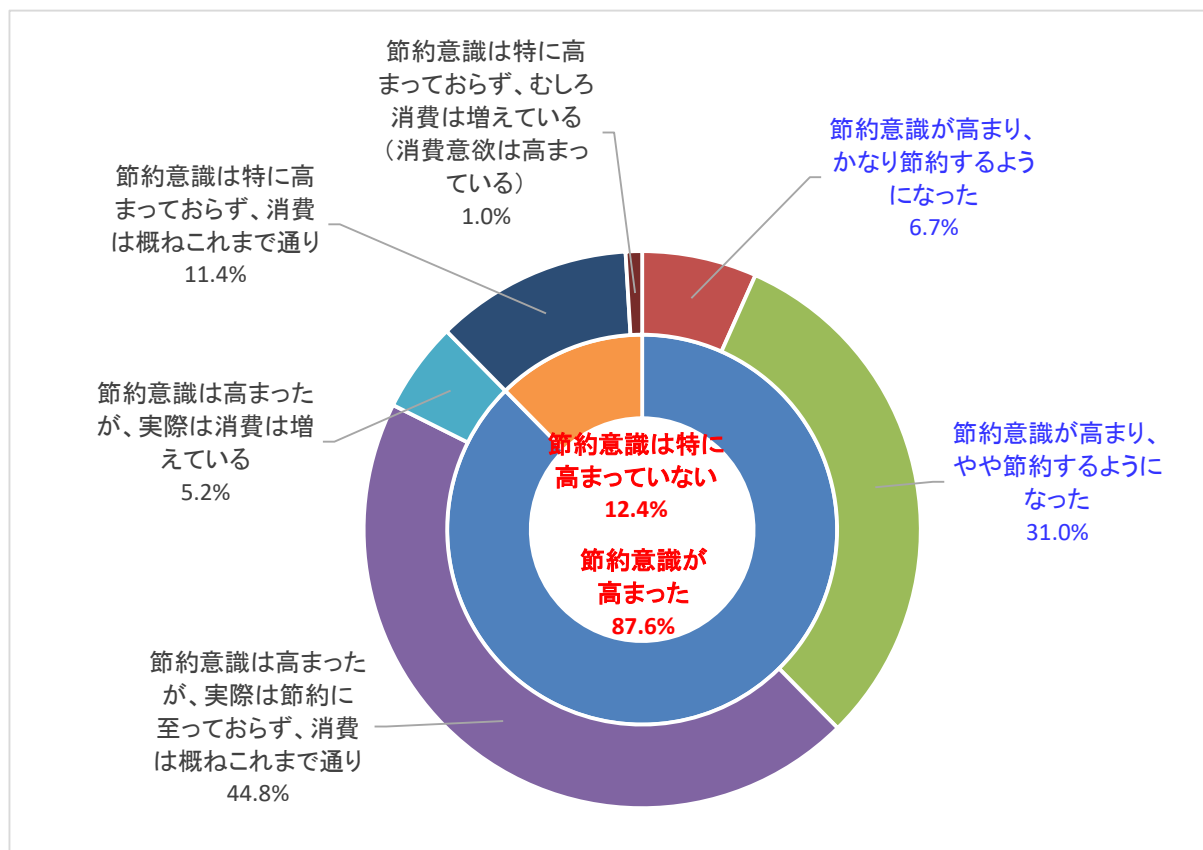
- 調査期間：2022年11月17日～11月25日
- 調査対象・回答数：三重県内の事業所で働く201人

#### 【調査結果】

#### ◆ “節約意識が高まった”は9割弱、“節約している”は4割弱

最近の物価高を受けて「節約意識（節約しようあるいは節約した方が良いという意識）が高まった」人は87.6%と、9割近くに上ることがわかった。しかし、実際に節約している人は思いのほか多くない。「節約するようになった」人は、「かなり」（6.7%）と「やや」（31.0%）を合わせて全体の37.7%となった。最も多かったのは「節約意識は高まったが、実際は節約に至っておらず、消費は概ねこれまで通り」の44.8%となった。

#### ■ 最近の物価高を受けた節約意識と消費行動



※「消費が増えている」は物価高による増額の影響を除く。消費とは額・頻度・機会等。

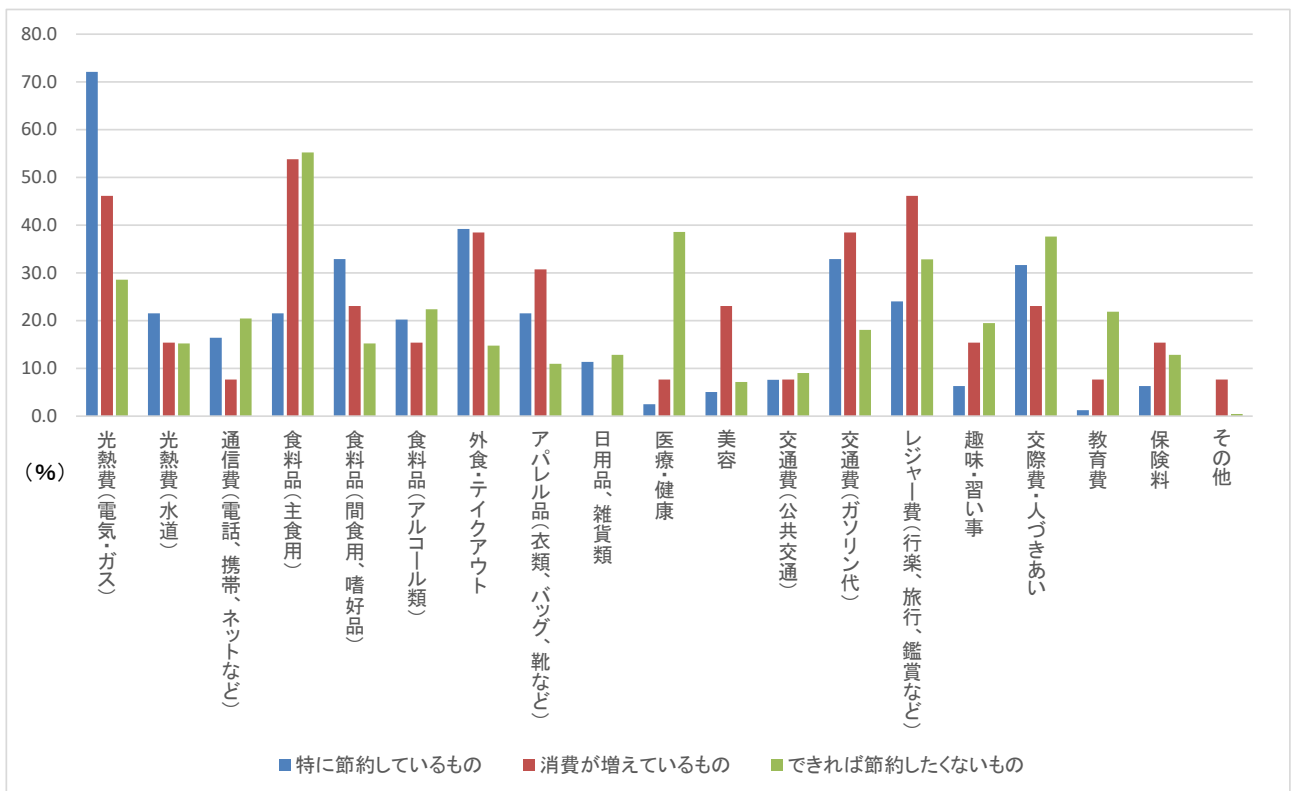
## ◆特に節約は「電気・ガス」、消費が増えている・節約したくないもの上位に「レジャー費」

「特に節約しているもの」は、「電気・ガス」が72.2%で突出して高い。価格上昇が著しいことや、エネルギー情勢を踏まえて節電や省エネが呼びかけられていることなどが影響したとみられる。政府の補助金で価格が抑えられている「ガソリン代」は32.9%だった。「外食・テイクアウト」(39.2%)、「食料品(間食用)」(32.9%)もやや高く、今後の動向に注視する必要がある。

一方、「できれば節約したくないもの」では、「食料品(主食用)」(55.2%)、「医療・健康」(38.6%)、「交際費・人づきあい」(37.6%)、「レジャー費(行楽、旅行、鑑賞など)」(32.9%)などの順に高くなった。

注目すべきは「レジャー費」である。「できれば節約したくないもの」では4位、「消費が増えている」では2位となった。食料品や医療などに比べれば不要不急の消費であるように思えるが、行動制限がない中でコロナ禍で抑制してきた反動もあるのか、物価高においても多くの人が削りたくないと考えていることがうかがえる。

■特に節約しているもの、消費が増えているもの、できれば節約したくないもの



以上